

第 2476 圖

ほもの科



かりやす

一名 あふみかりやす・やまかりやす、  
*Miscanthus tinctorius Hack.*

(=*Erianthus tinctorius Sieb.*; *Saccharum tinctorium Steud.*; *S. obscurem Steud. non Trin.*; *M. obscurem Jacks.*; *M. Sieboldi Honda.*)  
諸州ノ山地ニ生ジ往々群ヲ成シテ叢生スル多年生草本ニシテ高サ90-120cm許アリ。稈ハ直立シ瘦長ニシテ平滑ナル圓柱形ヲ呈ス。葉ハ互生シ廣線形ニシテ幅往々15mm許ニ達シ末漸尖シ質稍薄ク、下ハ長鞘ヲ成シ稈ヲ包メリ。秋月、稈頂ニ花穂ヲ着ケ短キ中軸ヨリ三乃至五六條ノ枝穂ヲ岐テ枝穂軸上ノ各節ニ二箇宛ノ小穂ヲ有シ、一ハ有梗一ハ無梗ナリ。小穂ハ褐色ヲ呈シ披針形ニシテ長サ5.5mm許アリ芒ヲ有セス、基部ノ總苞毛ハ小穂ノ半長ニ達シ、内外二穎ハ軟革質ニシテ外面白軟毛疎生シ、内外ノ二稈ハ膜質ヲ成ス。古來稈葉共ニ煎出シテ黄色染料トシテ利用ス。和名刈安ハ刈リ易キ意ニシテ容易ニ刈リ取り得ベキ故ニ云フト謂ヘリ、近江刈安ハ近江伊吹山ニ産出スルヨリ斯ク稱シ、山刈安ハ山地ニ生ズルヨリ云ヒテこぶなくさノかりやすニ對セシメシナリ。漢名 青茅(誤用)

第 2477 圖

ほもの科



かりやすもごき

*Miscanthus oligostachyus Stapf.*  
(=*M. Matsumurae Hack.*)

山原或ハ山地ニ見ル多年生草本ニシテ高サ1m内外ニ達ス。葉ハ狭長ニシテ長サ30-40cm許アリ、下部ハ長鞘ヲ有シ直立セル稈ト共ニ無毛ニシテ粗剛ナリ。秋月稈梢ニ穂ヲ成シ四五條ノ穂狀様總狀花穂ヲ分ツ。小穂ハ穂軸上ノ各節ニ二箇宛生ジ、一ハ有梗一ハ無梗、長サ8mm許ニテ披針形ヲ成シ褐紫色ヲ呈ス。總苞毛ハ小穂ノ二分ノ一ヨリ長クシテ白色ヲ呈シ、内外二穎ハ洋紙質ニシテ白色長軟毛ヲ有シ、内外ノ二稈ハ膜質、内稈ハ先端二岐シ長サ小穂ノ二倍以上ニ達スル芒ヲ有ス。本種ハかりやすニ似テ非ナルヲ以テ此和名アリ。

第 2478 圖

ほもの科



をぎ(萩)

一名 をぎよし  
*Miscanthus sacchariflorus Benth. et Hook.*

(=*Imperata sacchariflora Maxim.*)  
原野ノ水邊或ハ濕地ニ生ズル大形ノ多年生草本ニシテ高サ2m許ニ及ブ。根莖ハ地下ヲ縱横シ、其末端ヨリ稈ヲ抽テ直立シ花時ノ候ニハ往々其下部ニ於テ節アル稈體ヲ露出ス。葉ハ長大ニシテ幅25mm以上ニ達シ、平滑ニシテ邊緣鋸齒シ、下部ハ長鞘ヲ成シ稈ヲ包ミ鞘面ニ毛アリ。秋ニ至テ稈頂ニ花穂ヲ出シ、多數ノ穂狀様總狀花穂ヲ叢出シ、すずきノ花穂ニ比スレバ大ニシテ密ナリ。花穂軸上ノ各節ニ二小穂ヲ生ジ、梗ハ稍纖細ニシテ長短アリ。小穂ハ披針形、長サ凡6mm、黄褐色ヲ呈シ、基部ノ總苞毛ハ絹白色ニシテ15mmニ達シ、又内外二穎ハ薄膜質ニシテ外面ニ白色長毛ヲ有シ、内外ノ二稈ハ膜質ニシテ芒ヲ有セス。古來和歌ニ詠ゼラレ從テねざめぐさ・めざましぐさ・かぜききぐさ等種々ノ雅名アリ。和名をぎノ語原ハ不明ナリ。

ちかや(白茅)

古名 ち  
*Imperata cylindrica Beauv.*  
var. *Koenigii Durand et Schinz.*  
(=*Lagurus cylindricus L.*; *I. arundinacea Cyr. var. Koenigii Benth.*)

郊外原野或ハ山地ニ多數群ヲ成シテ叢生スル普通ノ多年生草本。根莖ハ瘦長白色ニシテ節アリ長ク地中ニ蔓延シ味甘シ。葉ハ狭長ニシテ稈ト共ニ立チ質硬ク、幅1cm許、長サ30-60cm許アリ。春末葉ニ先チテ花穂ヲ生ジ之レヲつばな(茅花ノ意)ト稱ス、後チ其稈長ク伸ビテ葉中ヨリ抽出シ稈頂ニ圓柱狀花序ヲ成シ白毛ヲ密生シ褐色ノ雄蕊ヲ着ク。花序ハ主軸ヨリ二回分枝シ、各小分枝上ノ節ニ二箇宛小穂ヲ有シ長短不同ノ梗アリ。小穂ハ長橢圓形ニシテ長サ2.5mm許、總苞毛及内外二穎上ノ毛ハ長キ白色絹毛ヲ呈シ長サ15mm許アリ、内外ノ二稈ハ極メテ小ニシテ芒ヲ缺ク。柱頭ハ二岐シテ長ク超出シ黒紫色羽毛狀ヲ成シ絹毛中ニ交ハル。稈ノ節ニ白毛アリ。其之レ無キ者ヲけなしちかや(var. *genuina Camus.*)ト云フ。根莖ヲ茅根ト稱シ藥用トシ、小兒つばなノ嫩ナルヲ食フ、往時老穂ノ白絮ニ焙硝ヲ加ヘテ火口ニ製セリ。和名ハちナルかやト云フ意ナリ、ちハ千ニシテ其草叢生スルヨリ云フナラントモ謂ヘリ。

第 2479 圖

ほもの科



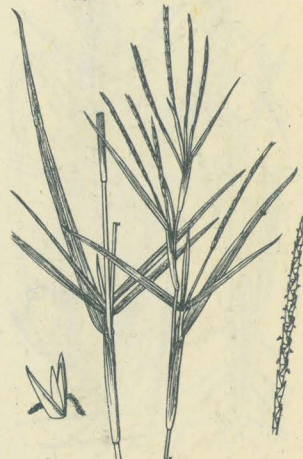
うしのしっぺい

一名 ばりん  
*Rottboellia compressa L. f.*  
var. *japonica Hack.*  
(=*R. japonica Honda.*)

郊外原野ニ生ズル多年生草本ニシテ匍枝ヲ發出ス。稈ハ稍平扁、剛質ニシテ直立シ叢ヲ成シテ高サ50-70cm許ニ達ス。葉ハ莖上開出シテ互生シ、細長ニシテ先端鋭ク尖リ稍白綠色ヲ呈シ、下部ハ長ク葉鞘ヲ成シ稈ヲ包ム。夏秋ノ候上部葉腋ヨリ瘦長ニシテ圓柱狀ヲ呈スル穂狀花序ヲ生ジ、稈梢ニテハ東生狀ヲ成ス。小穂ハ各節ヨリ二箇宛生ジ、一ハ無柄、一ハ有柄ニシテ柄ハ主軸ト殆ド下方マデ融合シ、無柄小穂ハ融合セル部ニ凹處ヲ作りテ花軸ニ接着ス。小穂ハ無芒ニシテ長サ5mm許、披針形又ハ長橢圓形ニシテ内外二穎ハ革質、内外ノ二稈ハ薄膜質ニシテ小形ナリ。花柱ハ帶紅紫色、二岐シテ羽毛狀ヲ呈ス。和名ハ牛ノ竹筥ノ意ナリ、又ばりんハ蓋シばれんノ誤ナラン、ばれんハ馬籠ニシテ其叢出セル草狀ニ基キテ云ヒシナラン。

第 2480 圖

ほもの科



あいあし

*Rottboellia latifolia Steud.*

瀕海地ノ溝邊ニ密集シテ生ズル粗大ナル多年生草本ニシテ根莖ヲ引テ繁殖ス。稈ハ直立シ高サ1.5m内外ニ達シ、葉ト共ニ硬質ニシテ無毛ナリ、下部ハ往々稈體ヲ露ハス。葉ハ長ク、幅2cm以上ニ達シ質厚クシテ先端鋭尖下部ハ長鞘ヲ成シ稈ヲ包ム。六月ノ候稈頂ニ花穂ヲ着ケ紫色ヲ帯ビ分枝シテ數箇ノ穂狀花序ヲ成ス。花序ハ粗剛ニシテ各節ニ二小穂ヲ着ケ一ハ無梗一ハ粗大ナル梗ヲ有シ互ニ相集リテ扁平ナル棒狀ヲ呈ス。各小穂ハ長サ8mm許、披針形ニシテ内外ノ二穎ハ硬革質、先端鋭ク尖リ、内外ノ二稈ハ紙質ニシテ芒無シ。和名あいあしハ多分あいあし即チ間草ノ意ニシテ眞ノあしトハ異ナル間ヒ物ノあしト云フ意ナラン、換言スレバあしもどきト稱センガ如キ者ナリ。

第 2481 圖

ほもの科

